空知地域野生鳥獣等対策連絡協議会報告

滝川市 TAKIKAWA-CITY

滝川市における春期管理捕獲を利用したヒグマ捕獲従事者の実践研修を通じた体制整備について

令和８年２月20日(金)
滝川市市民生活部くらし支援課
環境衛生係　係長　米内　健二

1

自己紹介

滝川市 TAKIKAWA-CITY

・平成30年４月１日
　滝川市役所入庁(35歳)
　総務部総務課法制文書係に配属
・令和５年７月１日
　市民生活部くらし支援課環境衛生係に異動

滝川市は、
　【野生動物対策】市民生活部くらし支援課
　【農業被害対策】産業振興部農政課
が担当部署で、ヒグマ対策はくらし支援課の担当業務

2

滝川市のヒグマ対策体制

滝川市 TAKIKAWA-CITY

・ヒグマ出没時は、くらし支援課環境衛生係職員だけではなく、交通・生活安全係職員も含め、課全体対応

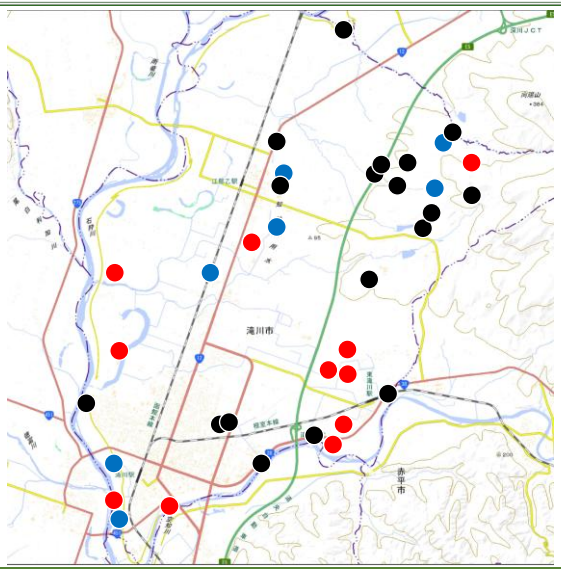
・くらし支援課環境衛生係職員２名が、わな猟免許を取得し、許可捕獲の従事者として対応

・北海道猟友会滝川支部滝川部会会員のうち、猟友会から推薦された会員15名を鳥獣被害対策実施隊員に任命し、ヒグマ対策業務に従事

3

滝川市地理的特性と出没状況

滝川市 TAKIKAWA-CITY



・市の北東部は丸加山等の山間部
・石狩川と空知川の合流点
・２つの河川に挟まれた国道12号線、38号線周辺等の区域が、主な人の生活圏

● Ｒ５年度　11回
● Ｒ６年度　７回
● Ｒ７年度　18回

4

令和６年春の春期管理捕獲の検討①

滝川市 TAKIKAWA-CITY

【猟友会会長に春期管理捕獲について相談】

- 滝川部会に**春グマ駆除の経験者はいない**
- 市内北東の山間部にヒグマが生息しているだろうが、どのあたりに巣穴があるか把握しているハンターは、おそらくいない
- 春期管理捕獲を実施したとしても、最初から**効果的な実施は難しい**
- ただ、今後春期管理捕獲の必要性が増すであろうし、**いつか始めなければ、いつまでも未経験のまま**
- 市役所が春期管理捕獲を行うと決定すれば、**ヒグマ捕獲経験者等の会員を参集し、できるかぎり協力**する

5

令和６年春の春期管理捕獲の検討②

滝川市 TAKIKAWA-CITY

【猟友会会長への相談内容を踏まえ庁内で検討】

- 経験者がいなく手探りで実施する状況であれば、**安全面の懸念がぬぐい切れず**、市役所として春期管理捕獲を行うことを決定し、猟友会に対応を依頼することはできない
- ヒグマ対応に関する捕獲者向けの研修会、**特に春期管理捕獲に関する研修会があれば、ハンターに積極的に参加してもらう必要**があるのでは
- 滝川市が実施するヒグマ対応に関する研修会も必要だし、北海道にも捕獲者育成に関する研修会の開催を要望してはどうか

6

令和６年秋・冬の調整事項

滝川市 TAKIKAWA-CITY

令和６年度までハンターは、猟友会からの協力者としてヒグマ対応

【令和７年度のヒグマ対策体制について猟友会と調整】
令和７年４月１日からは、鳥獣被害対策実施隊員に任命し、非常勤特別職の市職員としてヒグマ対策に従事

・有事の際、公務災害補償を受けることができるように
・それまで役員や事務局がほとんどであった猟友会との連絡が、個々のハンターとも取り合うことで、コミュニケーションが円滑に

7

令和７年春の春期管理捕獲の検討

滝川市 TAKIKAWA-CITY

・猟友会・市役所ともに基本的な考え方は、６年と大きく変わらず実施しないことに

・若手ハンターからは、今後のヒグマ対応に向けてベテランハンターに学ぶ機会があればとの声も

・令和６年12月に江部乙地区の住宅街周辺果樹園で発生したヒグマの出没を受け、実施を望む声も
①果樹園に自生していたヒメリンゴの食害
②積雪に残された足跡を追う捜索を実施
③狩猟により捕獲（体重250kg、前足幅19cmのオス）

8

令和６年12月の出没個体

滝川市 TAKIKAWA-CITY

9

令和７年３月三笠市春期管理捕獲実践研修

滝川市 TAKIKAWA-CITY

・実践研究事業への参加者募集について、ハンターに周知したところ、**３名が応募し参加**
※３名以外にも都合が付けば参加したかったとの声も

【参加した３名の声】

①**実際に参加してみないとわからないことが多数**あり、現場で**三笠市のハンターさんから直接話を聞いての「実践研修」**は、とても有意義で勉強になった

②滝川市で春期管理捕獲を行うとなったときに、**準備が不足していること**や実施者が**共有するべき心構え・留意事項が明確**になった

10

令和７年４月上旬、市内山間部での出没

滝川市 TAKIKAWA-CITY

・市内北東の丸加山周辺で**複数回ヒグマの出没**が発生
・猟友会に対応方針について相談したところ
　「**今後に備え（人里に出てしまう個体数を減らす）**、足跡を追って捕獲に動くべき」
　「雪山に入って**リスクを負ってまで捕獲**に動くほど、問題個体なのか」
　とハンターも市職員も、**様々な考え方**が挙がる
・今回は**雪山に入り捜索してまで、捕獲するための対応は行わない**という対応方針を、市役所が決定

あらかじめ残雪期の対応方針を調整し、共有しておくことを申し合わせ

11

令和８年春の春期管理捕獲の検討

滝川市 TAKIKAWA-CITY

・令和７年度の出没状況と対応経過を受け、人里周辺における**個体数の減少**や**人に対する警戒心の植え付け**を図る春期管理捕獲の必要性を認識
・**三笠市での実践研修に参加**したことで、**準備事項**や**心構え**、**留意点**等を体感し、手探りではない状況で実施することが可能に

猟友会と市役所双方で春期管理捕獲の必要性を確認
実践研修に参加し、安全面にも配慮した上で実施可能に

令和８年春の春期管理捕獲の実施を決定

12

準備の状況

滝川市 TAKIKAWA-CITY

令和８年１月末までに

- 鳥獣被害対策実施隊員に春期管理捕獲に参加するかどうかの意思確認
- 空知総合振興局に春期管理捕獲としての捕獲許可申請
- 道庁ヒグマ対策室に春期管理捕獲の必要経費についてヒグマ対策事業補助金の交付申請

現在、日程や範囲、人員について、
実施に向け細部を調整中

滝川市 TAKIKAWA-CITY

ご清聴ありがとうございました。